

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 財務の概況

2025年度の法人全体の基本金組入前収支差額は△4,586百万円（うち収益事業会計△1,364百万円）となり、前年度に比べ1,451百万円収支が悪化しました。

ただし、前年度は東横病院の不動産売却5,871百万円、それに関連した土壌汚染調査等経費41百万円、新外来棟やエントランス棟竣工稼働に伴う什器備品取得や移転経費1,179百万円、解体工事を開始した大学病院本館等の除却2,245百万円、コロナ関連支援金の返還456百万円といった特殊要因がありました。

一方で2025年度も、大学病院本館のアスベスト除去工事費等の建物処分差額追加計上336百万円、会計基準改正による賞与引当金の引当開始に伴う特別繰入2,114百万円等の特殊要因がありました。

上記の特殊要因を除くと、法人全体の基本金組入前収支差額は2024年度△5,085百万円に対し、2025年度△2,095百万円となり、実質的には2,990百万円改善しております。

基本金組入前収支差額が改善した主な要因は、医療経費の増加3,871百万円を上回る医療収入の5,024百万円増加と、物価高騰支援等をはじめとする補助金収入の1,384百万円増加です。附属病院合計の外来延患者数は減少となったものの、大学病院が90%を超える病床稼働率を維持し、附属病院合計の入院延患者数増加や入外診療単価の上昇したことより医療収入が増加しました。

また、創設したみらい募金等の寄付受入れ608百万円の増加や、受託研究や治験等の収入が123百万円増加したことも事業活動収入を押し上げる要因となっています。

これらの収支改善傾向を受けて、教育・研究・診療環境を充実するための設備や人材への投資を拡大し、今後の更なる収支改善に向けて戦略的な先行投資を行いました。

なお、基本金組入前収支差額に減価償却額と処分差額を足し戻した償却前収支差額は808百万円の黒字でしたが、会計基準の変更に伴い2025年度のみ特別支出計上した賞与引当金特別繰入額2,114百万円をさらに足し戻すと2,922百万円の黒字となり、当初予算の償却前収支差額の目標値2,783百万円を達成することができました。

菅生キャンパスリニューアル事業は順調に進捗し、2027年度のグランドオープンに向け解体工事や外構整備が続きますが、シンジケートローンによる借入れは2025年度で終了し、2026年度から借入金は減少に向かう予定です。

法人全体の経常収支差額は、大学病院建替や大型医療機器の更新等による減価償却額の増加の影響が大きく、△2,279百万円（うち収益事業会計△1,001百万円）と4期連続の赤字となっているものの、前年度比では4,535百万円改善しており、黒字化に向け来年度も引き続き努力してまいります。

体育館の耐震化改修や、電子カルテの継続的な更新等、今後も大きな設備投資が控えておりますが、2026年6月に予定されております賃上げや物価高騰に対応するための診療報酬の大幅な改定も追い風にしつつ、教育・研究・診療環境の更なる充実により収益力の強化に取り組んでまいります。

## 2. 学校法人会計

### (1) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

(収入の部)			(単位 百万円)		
勘定科目	2025年度決算①	2025年度当初②	2024年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
学生生徒等納付金収入	4,293	4,274	4,260	19	33
寄付金収入	786	255	454	531	332
補助金収入	3,922	2,497	2,703	1,425	1,219
医療収入	70,780	71,775	66,167	△ 995	4,613
その他の収入	24,224	20,111	26,927	4,113	△ 2,703
資金収入調整勘定	△ 14,061	△ 12,438	△ 12,514	△ 1,623	△ 1,547
<b>当年度収入合計(A)</b>	<b>89,944</b>	<b>86,474</b>	<b>87,997</b>	<b>3,470</b>	<b>1,947</b>
借入金等収入(1)	1,600	1,600	7,300	0	△ 5,700
前年度繰越支払資金	13,562	20,621	11,517	△ 7,059	2,045
<b>収入の部合計</b>	<b>105,106</b>	<b>108,695</b>	<b>106,814</b>	<b>△ 3,589</b>	<b>△ 1,708</b>
(支出の部)					
勘定科目	2025年度決算①	2025年度当初②	2024年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
人件費支出	32,472	32,109	31,898	363	574
教育研究経費支出	3,093	3,041	3,070	52	23
医療経費支出	41,202	40,302	38,632	900	2,570
管理経費支出	1,918	1,602	2,238	316	△ 320
施設・設備関係支出	820	784	6,978	36	△ 6,158
借入金等利息支出	579	576	434	3	145
その他の支出	24,672	20,055	23,865	4,617	807
資金支出調整勘定	△ 14,810	△ 14,911	△ 14,148	101	△ 662
<b>当年度支出合計(B)</b>	<b>89,946</b>	<b>83,558</b>	<b>92,967</b>	<b>6,388</b>	<b>△ 3,021</b>
借入金等返済支出(2)	642	642	285	0	357
次年度繰越支払資金	14,518	24,495	13,562	△ 9,977	956
<b>支出の部合計</b>	<b>105,106</b>	<b>108,695</b>	<b>106,814</b>	<b>△ 3,589</b>	<b>△ 1,708</b>
当年度資金差額(A)-(B)	△ 2	2,916	△ 4,970	△ 2,918	4,968
借入金差額(1)-(2)	958	958	7,015	0	△ 6,057

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったのかを明らかにするものです。

単位(百万円)

●教育活動による資金収支		2025決算 ①	2025当初 ②	2024決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金収入	4,293	4,274	4,260	19	33
	寄付金収入	785	254	177	531	608
	経常費等補助金収入	3,755	2,351	2,558	1,404	1,197
	医療収入	70,780	71,775	66,167	▲ 995	4,613
	その他の収入	2,894	2,519	2,767	375	127
	収入合計(A)	82,507	81,173	75,929	1,334	6,578
支出	人件費支出	32,472	32,109	31,898	363	574
	教育研究経費支出	3,093	3,041	3,070	52	23
	医療経費支出	41,202	40,302	38,632	900	2,570
	管理経費支出	1,910	1,602	2,238	308	▲ 328
支出合計(B)	78,677	77,054	75,838	1,623	2,839	
調整勘定等(C)	▲ 459	1,681	849	▲ 2,140	▲ 1,308	
資金差額(D=A-B+C)	3,371	5,800	940	▲ 2,429	2,431	

2025年度、教育活動(研究・診療含む)資金収支は補助金収入や医療収入増加が直接材料等の支出増加を上回っているため資金差額は**3,371百万円(D)**となりました。

機器備品の調達等、資本的支出を含む**施設整備等活動の資金差額は▲1,117百万円(H)**で、前年度は大病院新外来棟・エントランス棟の竣工による施設・設備関係支出があったため、前年度比では大きく減少しています。教育と施設整備を合わせた資金差額は2,254百万円(D+H)です。

借入・貸付とその返済、利息や収益事業からの繰入を含む**財務活動等の資金差額は▲1,298百万円(N)**と(D+H)を合算した資金差額は、前年度から**956百万円(Q)**増加し、次年度へは**14,518百万円(P)**の**支払資金**を繰越すこととなります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金5,614百万円を上回っています。)

●施設整備等活動による資金収支

収入	寄付金・補助金収入	167	146	421	21	▲ 254
	その他の収入	7,924	0	6,885	7,924	1,039
	収入合計(E)	8,091	146	7,307	7,945	784
支出	施設・設備関係支出	820	784	6,978	36	▲ 6,158
	その他の支出	8,005	0	8,081	8,005	▲ 76
	支出合計(F)	8,825	784	15,059	8,041	▲ 6,234
調整勘定等(G)	▲ 383	▲ 644	579	261	▲ 962	
資金差額(H=E-F+G)	▲ 1,117	▲ 1,282	▲ 7,173	165	6,056	
資金差額小計(D+H)	2,254	4,518	▲ 6,233	▲ 2,264	8,487	

●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等

収入	借入金等収入(I)	1,600	1,600	7,300	0	▲ 5,700
	収益事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	856	4,975	4,206	▲ 4,119	▲ 3,350
	収入合計(J)	2,456	6,575	11,506	▲ 4,119	▲ 9,050
支出	借入金等返済支出(K)	642	642	285	0	357
	借入金等利息支出	579	576	434	3	145
	その他の支出	2,533	5,999	2,509	▲ 3,466	24
	支出合計(L)	3,754	7,217	3,228	▲ 3,463	526
調整勘定等(M)	0	▲ 2	0	2	0	
資金差額(N=J-L+M)	▲ 1,298	▲ 644	8,278	▲ 654	▲ 9,576	

借入金等収入(I)1,600百万円はリニューアル事業計画に係るものです。

収益事業会計として区分経理している多摩病院の当期純利益は▲1,364百万円とマイナスになったため、学校会計への繰入れはありません。

前年度繰越支払資金(O)	13,562	20,621	11,517	▲ 7,059	2,045
次年度繰越支払資金(P)	14,518	24,495	13,562	▲ 9,977	956
支払資金増減(Q=D+H+N=P-O)	956	3,874	2,045	▲ 2,918	▲ 1,089
内借入金差額(R=I-K)	958	958	7,015	0	▲ 6,057
内当年度資金差額(S=Q-R)	▲ 2	2,916	▲ 4,970	▲ 2,918	4,968

借入金差額(借入収入-返済支出)958百万円(R)を除いた当年度の資金差額は▲2百万円(S)となります。

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を経常的な活動(①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動)と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」は、当該年度の短期的な収支バランス(いわゆる、黒字なのか、赤字なのか)を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位(百万円)

●経常収支 (教育活動収支)		2025決算 ①	2025当初 ②	2024決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金	4,293	4,274	4,260	19	33
	寄付金	792	254	184	538	608
	経常費等補助金	3,755	2,351	2,558	1,404	1,197
	医療収入	70,780	71,775	66,167	▲995	4,613
	その他の収入	2,894	2,519	2,767	375	127
	収入合計(A)	82,514	81,173	75,936	1,341	6,578
支出	人件費	32,477	31,932	31,939	545	538
	教育研究経費	3,476	3,412	3,461	64	15
	医療経費	45,514	44,711	42,843	803	2,671
	管理経費	1,810	1,837	2,477	▲27	▲667
	その他の支出	36	33	11	3	25
	(減価償却額)	(4,788)	(4,858)	(4,576)	▲70	212
支出合計(B)	83,313	81,925	80,731	1,388	2,582	
収支差額(C=A-B)	▲799	▲752	▲4,795	▲47	3,996	

学校法人の本業である教育活動(研究・診療含む)の収入は、医療収入増加や物価高騰に対する支援など経常費等補助金増より前年比増の**82,514百万円(A)**となりました。

支出は、前年度は東横病院閉院関連経費や大学病院外来棟・エントランス棟移転経費など特殊要因があったにもかかわらず、医薬品や衛生材料費など材料費や委託費の増加などにより、前年比増となりました。ただし収入の伸びが経費の伸びを上回ったため、**教育活動収支差額は、▲799百万円(C)**の赤字ではありますが、**前年比で3,996百万円改善**しました。

●経常収支(教育活動外収支) ※財務活動収支、収益事業活動収支		2025決算 ①	2025当初 ②	2024決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	受取利息・配当金他	100	42	48	58	52
	収益事業収入	0	0	0	0	0
	収入合計(D)	100	42	48	58	52
支出	借入金等利息	579	576	434	3	145
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出合計(E)	579	576	434	3	145
収支差額(F=D-E)	▲479	▲534	▲386	55	▲93	
経常収支差額(G=C+F)	▲1,278	▲1,286	▲5,181	8	3,903	

また、財務活動による収入100百万円(D)は金利上昇や特定資産の債券運用などにより前年度に比べ増加も、リニューアル事業借入の借入金等利息579百万円と支出増のため、**教育活動外収支差額は▲479百万円(F)**、教育活動収支差額と合わせた**経常収支差額は▲1,278百万円(G)**となりました。

●特別収支 ※臨時的な活動収支

収入	資産売却差額	1	0	5,876	1	▲5,875
	寄付金・補助金収入	185	146	453	39	▲268
	その他の収入	1	0	4	1	▲3
	収入合計(H)	187	146	6,333	41	▲6,146
支出	資産処分差額	365	10	2,511	355	▲2,146
	その他の支出	1,766	0	143	1,766	1,623
	支出合計(I)	2,131	10	2,654	2,121	▲523
特別収支差額(J=H-I)	▲1,944	136	3,679	▲2,080	▲5,623	

前年度は東横病院不動産売却や病院本館等除却を計上した一方、今年度は解体中の大学病院本館アスベスト除去費など資産処分差額や、今年度から開始の賞与引当金の特別繰入1,757百万円など計上し、**特別収支差額は▲1,944百万円(J)**となりました。

基本金組入前当年度収支差額(K=G+J-Q-R)	▲3,222	▲1,150	▲1,502	▲2,072	▲1,720
基本金組入額(L)	▲1,283	▲1,460	▲336	177	▲947
当年度収支差額(M=K+L)	▲4,505	▲2,610	▲1,838	▲1,895	▲2,667
前年度繰越収支差額(N)	▲51,075	▲47,666	▲65,919	▲3,409	14,844
基本金取崩額(O)	760	0	16,682	760	▲15,922
翌年度繰越収支差額(P=M+N+O)	▲54,820	▲50,276	▲51,075	▲4,544	▲3,745

この結果、事業活動収支差額は、前年度を1,720百万円下回る**▲3,222百万円(K)**となりました。

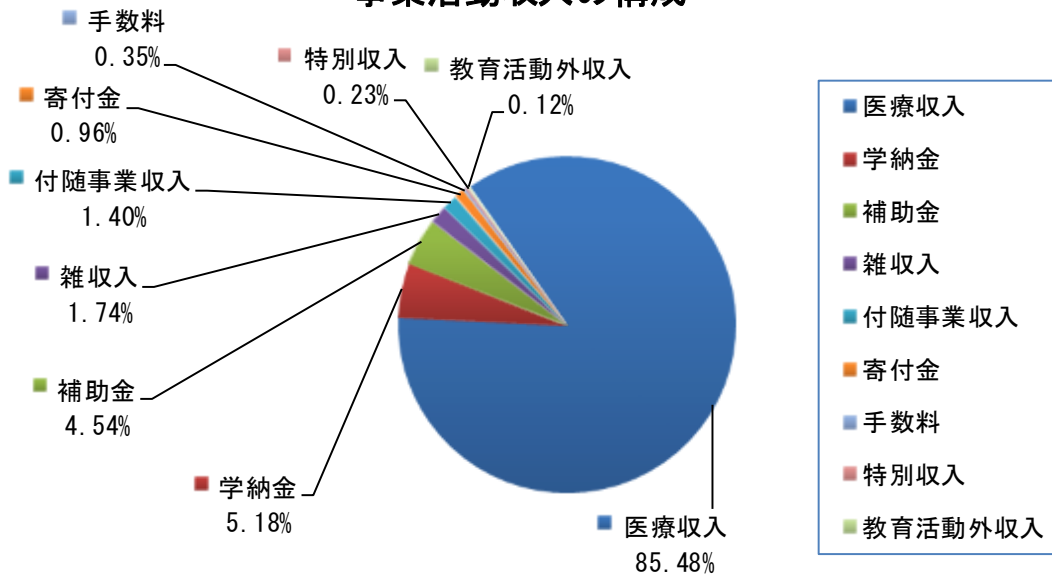
また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は、**▲54,820百万円(P)**となっています。

なお、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を484百万円上回り、**82,801百万円(Q)**となりました。

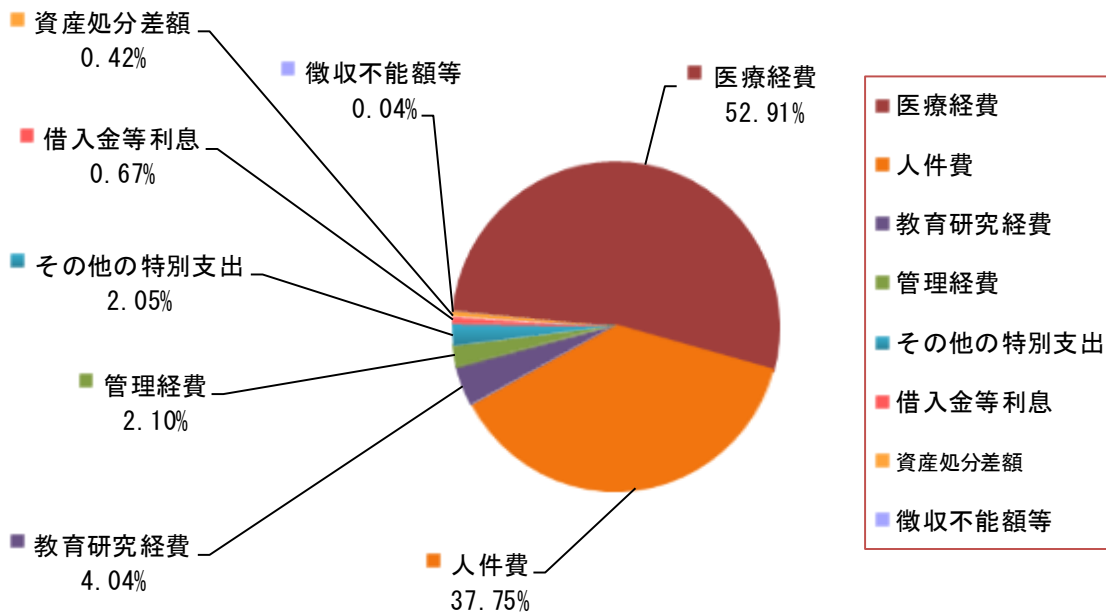
(参考)

事業活動収入計(Q)	82,801	81,361	82,317	1,440	484
事業活動支出計(R)	86,023	82,511	83,819	3,512	2,204

### 事業活動収入の構成



### 事業活動支出の構成



(4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B/S(バランスシート)ともいわれ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。(事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額は、前年度末と当該年度末の自己資金の増減と一致します。)

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	80,389	83,761	▲ 3,372	固定負債	59,090	60,073	▲ 983
有形固定資産	61,517	64,952	▲ 3,435	長期借入金	46,599	47,435	▲ 836
土地・建物・構築物	84,969	84,876	93	退職給与引当金	12,491	12,637	▲ 146
機器備品	26,175	26,202	▲ 27	その他の負債	0	1	▲ 1
その他の資産	2,548	2,546	2	流動負債	21,624	17,074	4,550
減価償却累計額	▲ 52,175	▲ 48,672	▲ 3,503	短期借入金	2,436	642	1,794
特定資産	15,976	15,341	635	未払金	15,412	14,667	745
その他の固定資産	2,896	3,468	▲ 572	その他の負債	3,776	1,765	2,011
有価証券	116	116	0	負債の部合計	80,714	77,147	3,567
収益事業元入金	111	111	0	基本金	87,206	86,683	523
その他の資産	2,669	3,241	▲ 572	1号基本金	81,042	80,562	480
				2号基本金	0	0	0
流動資産	32,711	28,994	3,717	3号基本金	550	507	43
現金・預金	14,518	13,562	956	4号基本金	5,614	5,614	0
その他の資産	18,193	15,432	2,761	繰越収支差額	▲ 54,820	▲ 51,075	▲ 3,745
				純資産の部合計	32,386	35,608	▲ 3,222
合計	113,100	112,755	345	合計	113,100	112,755	345